

作成日 2016年5月18日

慶應義塾大学環境情報学部一ノ瀬友博研究会・研究室

受け入れられる学生 学部・修士課程・博士課程

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス（通称 SFC）には、総合政策学部、環境情報学部、看護医療学部の3つの学部がありますが、総合政策学部と環境情報学部は履修の制限や所属研究室の制限がほとんどありませんので、教員一ノ瀬の所属は環境情報学部ですが、総合政策学部の学生も所属することができます。SFCでは、学部生のゼミを研究会と呼んでいて、学部1年生の時から研究会を履修できます。大学院生は、研究室に所属しますが、ゼミは学部とは別で、複数の教員が担当するゼミを履修します。

一ノ瀬研究会・研究室は、鳥類の研究を中心にする研究室ではなく、生物から緑地の計画、地域活性化、震災復興まで幅広い対象に学生たちは取り組んでいます。2016年度時点では、半分ぐらいの学生が生物を研究対象にしている、鳥類を対象にしている学生は、3名です。同じ時期に3名の学生が鳥類を対象に研究しているのは珍しい状況です。他には、昆虫や両生類を対象としている学生などがいます。鳥類の生態を深く掘り下げる研究をしたければ、SFCはあまりふさわしくないかもしれません。しかし、分野の垣根がほとんどないキャンパスでもあるので、生態学とIT、生態学と政策など、分野横断的に取り組み、新しいことにチャレンジするにはとてもよい環境です。バイオに関しては、山形県鶴岡市にもキャンパスを持っていて、そちらとコラボして研究を進めることもできます。

一ノ瀬研究会・研究室は、いつでも高校生や学外の大学生、大学院生の見学を歓迎しています。もし興味があれば、連絡を下さい。

近年学生が発表した鳥類に関する論文

Sun, K., Hijikata, N., Ichinose, T. and Higuchi, H. (2015) The migration flyways and protection of cranes in China. *Global Environmental Research* 19, 173-181.

Galbreath, D. M., Ichinose, T., Furutani, T., Yan, W. and Higuchi, H. (2014)

Urbanization and its implications for avian aggression: a case study of urban black kites (*Milvus migrans*) along Sagami Bay in Japan. *Landscape Ecology* 29, 169-178.

研究室に関するホームページなど

一ノ瀬の個人ページ（最近あまり更新していません）

<http://web.sfc.keio.ac.jp/~tomohiro/>

一ノ瀬の Twitter

@Landschaftsplan

研究室の Facebook ページ（日本語）（随時情報をアップしています）

<https://www.facebook.com/ichinose.lab/>

研究室の Facebook ページ（英語）

<https://www.facebook.com/IchinoseKeio/>

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスのページ

<http://www.sfc.keio.ac.jp>

連絡先

上記のホームページや Twitter、Facebook から連絡下さい。